

Graduation Policy (GP)	
記入者氏名	
記入年月日	2006年4月1日
学部・研究科	教育学部
学科・専攻等	情報科学教育課程
コース等名	数理情報コース
細分名	
教育学部の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
学校教育および社会のさまざまな分野において教育の素養をもって貢献できる人材の養成を目的とする。	
教育学部のGraduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間と教育に関わる事象を、問題意識をもって思考、調査、分析することができる。 2. 自らの思考、調査、分析の結果を適切な方法で表現することができる。 3. 自らの専門において習得した知識や能力を、実践に活用することができる。 	
情報科学教育課程の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
情報処理機器やソフトウェアの原理や使用技術を基に、コンピュータデザインやソフトウェアの作成を修得し、マルチメディアアート、情報処理、情報科学、教育などの分野で活躍できる人材の養成を目的にする。	
情報科学教育課程のGraduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的な思考ができる。 2. 情報科学の基礎を理解している。 3. プログラムを作成することができる。 4. マルチメディアアートを作成することができる。または、数理科学の基礎を理解している。 	
数理情報コースの教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会情勢に適応出来る人材を養成する。 2. 数理的分野、情報科学的分野、教育的分野などから高度情報化に関する基礎事項を学習・研究を通し、情報機器の操作だけでなく、基礎的情報処理能力を有し、教育的配慮を加味したソフトウェアの作成できる人材を育成する。 	
数理情報コースのGraduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 数学の基本理論を理解し、数学的思考、計算等が適切に、かつ、正確に出来る。 2. 数理的現象や実際の身の回りの現象を数理的・数学的に考察し、分析することが出来る。 3. 文献および資料収集が必要に応じ、的確に出来る。 4. 計算機について基礎的事項を理解している。 5. プログラミングの基本を修得している。 6. 教育工学的手法の基本を理解している。 	